

協働のまちづくり説明会記録(南地区)

《開 会》

《説明者等紹介・日程説明》

《市民活動推進課説明》

①地域ですすめるまちづくりについて

(協働のまちづくりについて、自主運営組織のあり方について)

《①に対するの質疑応答》

- ・ 図2から、バラバラにある団体を自主運営組織としてひとまとめにすることは責任がぼやけてしまうなど効果が薄れてしまうのではないか。今までどおり各種団体での活動の方が良いのではないか。

5年・10年先の活動が今までどおりで良いのかが問題である。重複した事業などを調整することで効率的・効果的に事業を行うことができれば役員の負担も減ってくると思う。これから地域活動についてみんなで考えていくことが必要であり、一緒に議論をしていきたい。
- ・ 事業経費等をひとまとめにして地域（自主運営組織）に交付されても割り振りすることが大変だと思う。今までどおり各種の助成・補助金をそれぞれの団体に市から出していただくのが良い。必要でない所や要望の無いところへは出さなければよいと思う。

若者や高齢者の方に本当に要望（ニーズ）が無いのだろうか。この時期に皆様の意見を集め議論していただくことが将来のまちづくりに必要だと思う。お金の割り振りについても、地域で本当に必要なところにどう使っていくかを議論していただき決定していただくことが大切だと思う。今回の提案は一つの例であり、提案された内容で地域活動を行うものではない。あくまでもイメージとしてとらえていただき、本日出された意見なども今後の議論において参考にしてほしい。
- ・ このような方法で成功されたところはあるのか。

すでに全国で100を超える自治体に取り組んでいる。スタートしたばかりのところもあり、すべてが成功したという報告ではないが、活動しやすくなったという報告例も数多くある。
- ・ 町内会活動等に参加をする人が増えることが大切だと思う。町内会活動に参加しない方に参加していただけるような方法やルールを考えていただきたい

《企画課説明》

- ②行政ですすめるまちづくりについて
(市民参加条例(仮称)の制定に向けて)

《②に対するの質疑応答》

- ・(3ページ)3の①市の責務に「市民参加を基本とした市政運営を行うものとする。」とあるが、基本的に市政運営は市役所に任せている。市政運営に市民が入ってくると余計面倒になるのではないか。

市民の市政運営への参加については、(この条例を制定してから始めるのではなく)これまでも行っているものである。例として、町内要望も市民参加の一つである。こうした市民参加の手法等を明確にするため、条例化するものをご理解いただきたい。

《説明全体に対するの質疑応答・意見交換》

- ・町内要望で市道の整備は対応してもらっているが、私道の整備については、思うように実施してもらえない。また、市道にもしてもらえない。町内要望も市民参加の一つとのことであるが、私道の整備に関する意見(要望)もしっかりときいていただけるのか。

これまでも町内要望については、いただいた要望を市内部で十分に協議・検討し、その結果を書面にてお答えさせていただいている。私道の整備に関しては、市がその整備費用の一部を助成する制度があるため、ご検討いただきたい。私道を市道に編入する基準が厳しいため緩和してほしい、などの要望をいただければ、市内部で検討し、適切に対応させていただく。

- ・条例のイメージの中で「公表する」との表現を散見するが、こういった手段で公表するのか。

公告(告示)、広報たかやま、ヒッツFM(ラジオ)、ケーブルTV、市ホームページにてお知らせする。町内会のご理解をいただければ、町内回覧にてお知らせすることも可能である。

- ・今回の案について、市議会議員は賛成しているのか。この条例を施行すると市議会議員がいらなくなるのではないかと思う。声の大きい人の意見が中心となるおそれがある。こうした市民意見と市議会議員との間に乖離が生ずるのではないか。

条例案として議会に上程していない(その段階にない)ため、賛否については何とも言えないが、こういった案を検討していることは、議会に対して報告している。議会は、条例や予算について議決する権限を持っており、この条例が施行されたからといって、その機能・重要性が変わるものではない。これまでも実施している取り組みを制度的に保障することを趣旨としており、取り上げた市民意見に強制力を持たせようとするものではない。また、寄せられた市民意見と市民の代表として選出された議

会との間に乖離が生ずるとは考えていない。

- ・協働のまちづくりについて新しい組織ができると役員の負担も増えてくるように思う。内容についてみんなが理解して進めていかなければならないと思う。このような説明会は別の機会でも開催することはあるのか。

まずは地域での議論が必要だと考えている。情報提供などは引き続き行っていくが、さらに輪を広げるのか、またはテーマを絞って取り組むのかについても地域で考えていただきたい。それに応じ、市も説明の機会や意見交換の場を設けるなど地域の取り組みを支援することを検討する。

- ・平成27年度をめざして行うものなのか。タイムテーブルがあるのか。

市の目標としては、平成27年度をひとつの目安としているが、地域の取り組み方により違いがあると思っている。

- ・協働のまちづくりの自主運営組織について、主体は町内会をイメージしている。町内会と別の組織にすると地域の負担が増えるのではないのか。

全国にはいろいろな事例がある。それぞれの地域の実情に合わせてより良い組織を考えていただきたい。

- ・協働のまちづくりの自主運営組織について、各町内から役員が集まるような形になるのか。

本日の提案をきっかけに、どのような組織構成が良いのか、みなさんで考えていただきたい。市も地域の取り組みを一緒になってすすめていく。

- ・漠然としてわかりにくい。すでに取り組んでいる地域の実例などの情報を示していただきたい。

全国の他市の取り組み事例など、あらためて情報提供させていただく

《閉 会》